

## バリデーション審査結果等の概要

平成 21 年 12 月 3 日  
気候変動対策認証センター

### (1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	森の町内会（間伐サポーター企業群と岩手県岩泉町・葛巻町の連携による間伐促進プロジェクト）						
申請受理日	2009年10月29日						
プロジェクト代表事業者	環境NPOオフィス町内会						
プロジェクト事業者	岩泉町 葛巻町森林組合						
プロジェクト参加者	葛巻町 岩泉町森林組合 株式会社エコノス						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	株式会社エコノス						
プロジェクト概要	「森の町内会」は「間伐に寄与した紙」の使用を通じて「複数企業の環境貢献活動」と「地域における森林整備」を結びつける新しい仕組みである。企業が従来の紙代より10%程度割高となる「間伐に寄与した紙」を購入・使用することで、間伐費用の不足分の一部を負担し、間伐を促進する。本プロジェクトは、「森の町内会」活動を通じて、間伐サポーター企業群との連携により、更なる森林整備を進め「森を元気にする」とともに、温室効果ガスの吸収量の増大を図ることを目的としている。						
プロジェクト期間	2008年4月1日～2013年3月31日						
クレジット期間	2008年4月1日～2013年3月31日						
想定吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	160	353	421	515	516	1,967
ポジティブリスト	No. R. 001						
方法論	JRAM 001（森林経営活動によるCO2吸収量増大（間伐促進型プロジェクト）に関する方法論）						

### (2) 審査結果

※審査内容におけるアルファベットは申請書、ローマ数字はモニタリングプランにおけるセクションをしている。

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行

	<p>った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
適格性要件（C）	<p>申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書における方法論 JRAM001 の適用は実施規則及びポジティブリストNo.R001 に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
排出量・吸収量算定（I・II）	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量算定は、方法論 JRAM001 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。なお、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
モニタリング計画（III～VI）	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論 JRAM001 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
その他の論点	<p>現地における実査を踏まえていないものの、申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況を確認した結果、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
認証運営委員会への推奨	<p>オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリスト No. R001 の適格性基準を満たし、方法論 JRAM001 に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合していることが確認された。また、排出削減・吸収量の計算方法、モニタリング方法等については、方法論に則って作成されており、ルールへの準拠性が確認された。</p> <p>現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>

### (3) パブリックコメントの概要

該当箇所	ご意見
意見募集期間中にいただいたご意見はなかった。	

### (3) 認証運営委員会の結果

平成 21 年度 第 8 回オフセット・クレジット (J-VER) 認証運営委員会 (平成 21 年 12 月 3 日) においてプロジェクト登録が承認された。